

2020年6月1日 聖心女子学院初等科 校長 大山 江理子 6月号

# 新しい関わりの作り手になる

## 校長 Sr.大山 江理子



いよいよ学校再開も近づいてきました。長 く家庭での生活が続きましたが、新しい生活 が始まります。みこころの月に新たな一歩を 踏み出したいと思います。

家庭での生活から、学校での生活へ、お子 さんの時間の過ごし方も人との関わりも大き く変わります。新型コロナウィルスという新 しい存在も含めての、私たち人間の生活とな っています。感染症に注意する知恵を身につ けることも大切になりました。学校生活の中 でも、皆で新しい生活の仕方を身につけたい と思います。お友だちとの関わりについても、 どうやって仲良くしていくか、親しさを表現 するか、新しい工夫が必要かもしれません。

人と人との関わりはとても大切なものです。今回の長い間の家庭での生活で、インターネッ トはとても有効なコミュニケーション手段でした。特に、海外でも、国内でも、離れた場所に いる人と話したり、授業や会議ができたりすることは、とてもありがたいことでした。しかし、 画面を通しての関わりは、どうしても限界があります。私たちは身体を置き去りにすることは できません。一人ひとりのお子さんとしっかり向き合う、集団で活動する、たとえ沈黙でも同 じ空間で静けさを共有する、このような活動ができることをとても楽しみにしています。

聖書の中のイエスは、出会う人一人ひとりを大切にし ています。大勢がイエスのもとに押し寄せれば、群衆に 向けても語ります。しかし、たとえ、初めて出会った人 でも、通りすがりに声をかけた人でも、イエスがその人 を大事にしてくださる姿には相手に対する真剣さに満ち ています。たとえば、一人の目の不自由な人がイエスが 通られると聞いて、人々の制止にもかかわらず大声で叫 び出し、イエスを呼び止めようとすると、イエスは足を 止め、しつかりと向き合って耳を傾け、問いかけます。「何 をしてほしいのか」。イエスとこの人との間に深い繋がり が築かれる一瞬です (マルコ10章46~52)。

しばらくは限られた形での学校生活になりますが、子 どもたちと共に、場を共有し、関わりを築く喜びを味わ っていきたいと思います。新しい関わりの作り手になる ことをまず目指します。



画像: AMASC世界聖心同窓会

# 6月の予定 ~みこころの月~

9日(火) 荷物移動(4.3年)

10日(水) 登校開始(ばら組)

11日(木) 登校開始(ゆり組)

8日(月) 荷物移動(6,5年) 15日(月) 1年·転入·編入生保護者会

※校長·副校長のお話を動画で配信いたします。 担任のお話は別日にZoomにて行いますので、後

日ホームページで日時をお知らせいたします。

12日(金) 登校開始(きく組) 126日(金) みこころの祝日(お祈り)

### Wise and Creative with Action ~ 教頭 吉岡 真左美

感染症拡大防止のための長い休校期間が、ようやく終わりを迎えようとしています。保護者 の皆様には、お仕事やご家庭でのご用事と共に、お子様の学習をサポートしていただき、心よ り感謝申し上げます。このような状況でどのように学習を進めたら無理なく持続してできるか、 そしてどのように子どもたち同士が、子どもたちと私たちがつながることができるか、模索し 続けた3ヶ月でしたが、保護者の皆様のご理解とご協力があったからこそ、私たちも実践を続 けることができました。

学校は再開しますが、分散登校によって「密」を避けるため、学校での学習と並行して、ご 家庭での学習も引き続き行っていきます。保護者の皆様にはお願いごとばかりですが、ご家庭 と学校が両輪となって一緒に子どもたちを支えることができれば、本当に有難く、心強く思い ます。どうぞ宜しくお願いいたします。

当たり前だった日常が当たり前でなくなると、私たち人間は必死に考えます。私はふとした 瞬間に、昨年の学校目標であった" Be wise. Be creative."という言葉が背中を押してくれ るのを感じます。考えてもそれが果たして正解なのかはわからないこともありますが、考える ことによって次につながるステップになったり、他の人の考えと合わせて新たな発想が生まれ たりして、すぐに結果がでなくても良い流れを創り出すことはできると思います。この「考え る」という行為は、神様が人間に与えてくださった力だと改めて感じています。今年はさらに with Action "を意識して、子どもたちと共に頑張りたいと思います。

医療関係で働いていらっしゃる方々をはじめ、私たちの命や生活を守るために最前線でご尽 力くださっている方々は、まさに日々 wise で creative に取り組んでいらっしゃいます。心 からの感謝と共に、私たちも今できることを考え、実行することによって、この難局を乗り越 える大きな力をご一緒に作りだしていきたいと願っています。



【人工芝】 みなさんが来るのを楽しみに待っています。 今は静かすぎるくらいです。



【 先生方の準備 】 学校が始まる準備を、先生方が進めています。 (2年生活科「水の中の生き物」)



【 |年玄関 】 1年生のみなさんは、ここから登下校します。 みなさんがいない時は、ネコがのんびり くつろいでいることがあります。



【 うめちゃん 】 静かな学校の中で、うめちゃんも のんびりと過ごしています。

みこころの月のプラクティス

思いやりのある言葉